



伊野-INO-

～やって未来こい！

いの
ENO暮らし2030～



発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5

Tel: (0853) 69-1526 Fax: (0853) 69-1530

E-mail: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区自治協会
Instagram



一伊野地区の人口一
(R4.12月末現在)

男性… 573人
女性… 623人
合計… 1,196人
世帯数… 417世帯

伊野バージョン

～Ino's kitchen 竹 de ごはん～

総勢61名

10/30

島根大学教育学部の学生と地区の子どもたち、そして地区住民とがコラボする伊野バージョンを1年ぶりに開催。今回は松枝町内の会場を拠点に野外活動を行いました。皆で協力して近くの山から竹を切り出し、ノコやノミなどの道具を使って竹飯ごうを作り、ご飯を炊いて食べました。ご飯が炊けるまでの時間は大学生が考えたゲームで盛り上がり、参加者同士交流を図りました。
(コミセン自主企画事業 まちづくり部)



プチわくわくひろば

ハロウィン撮影会

参加者8組23名

10/23



子どもの可愛い姿を記念に残したい！今年はコミセンの大会議室に、ハロウィンの可愛い撮影セットと仮装グッズを用意して、自由参加型の撮影会を行いました。撮影セットで自由にポーズをしたり、仮装セットでファッションショーをしたりと、楽しい撮影会になりました。

(コミセン自主企画事業 子育て支援部)

やって未来こい!通信

続報

耕作放棄地復活プロジェクト

「そば打ち」

12/17,25

農水部会

草刈り、耕作、種蒔きを経て、刈り取り、脱穀、そして12月には念願のそば打ちを行いました。2回に分け、原田登志夫(堂ノ本)さん指導の下、約30名がそば打ちに挑戦。手作りそばの味は格別だったようです。



クリスマスグッズを親子でつくろう

参加者18名

12/4

教育部会

自然物を使ったリースとオーナメントづくりを開催。枝に毛糸を巻き付け、松かさやノグルミ、ヘクソカズラやモミジバフウ、帝王貝細工の花などを飾り付けて完成。おうちの玄関やツリーに飾って家族で素敵なクリスマスとなったことでしょう。



三隅地域視察団来訪

12/3



浜田市三隅町の自治会連絡協議会の皆さん14名が伊野に視察に来られました。初めによっ得!?伊野いちと古民家垂水を見学。次に伊野のまちづくりや未来こい!ネットの活動

について交流部会長の多久和秀政さんと事務局長の多久和祥司さんから紹介があり、その後、未来こい!ネットの皆さんと意見交換を図りました。昼食の汁や漬物も皆さんに好評でした。

松江市青少協視察団来訪

1/4

松江市の青少年育成連絡協議会の皆さん30名が伊野のまちづくりや教育活動における取組を参考にしたいと視察に来られました。初めによっ得!?伊野いちを見学。次にコミセンにて多久和祥司さんから伊野のまちづくりと教育について、また、山崎啓子さんとino.ti代表の兼折治加さんから未来こい!ネット教育部会の活動について紹介があり、意見交換を図りました。



しまねローカルスタイルツアー

1/15

島根県地域振興部中山間地域・離島振興課主催によるオンライン研修会の講師をやった未来こい!ネットの3名の皆さんが務めました。「子どもたちへ伝える、みんなでつくる地域の未来」をテーマに農水部会長の常松守男さん、交流部会長の多久和秀政さん、教育部会の兼折治加さんがこれまでの活動や子どもたちへの想いなどについて紹介し、参加者の皆さんと意見交換を図りました。

未来こい!ネットの活動の様子は自治協会ホームページの「未来こい!ネット通信」やYouTubeでも紹介しています。ぜひご覧ください。



地域おこし協力隊

あさ えだ しょう こ

朝枝尚子さん

★ 連載 ー第3回ー



朝枝@協力隊の出雲伊野暮らし

【種まきから関わった蕎麦の味は、想像を超えた美味しさでした!!】

そこかしこから春の気配を感じる季節になりました。山菜、野草好きの私にとってワクワクが止まらないシーズンに突入です。季節の移り変わりをより身近に感じられること、新鮮な食材が手に入ることは地方に住む大きな利点だと思います。伊野には米、野菜、果物、お茶、宍道湖のシジミや地合の鮮魚と、美味しいものがあふれていますね。そして伊野の「そばプロジェクト」で食べた蕎麦の味も、しみじみ美味しいな～と感じたものの一つでした。ということで今回は、昨年度関わらせていただいた「伊野そばプロジェクト」についてのリポートを書いてみようと思います。

今年度が2回目になる「伊野そばプロジェクト」。耕作放棄地を復活し、ソバを栽培する取り組みです。スタートは8月。真夏のガラガラ太陽の元での「種まき」作業です。種は在来種を改良した島根県のオリジナル新品種「出雲の舞」。伊野でフィールドワーク中の島根大学生や先生も参加してくれました。そのひと月後には大きく成長したソバたちが白く可愛い花を咲かせ、圃場はきれいな花畑に。そして種をまいてから約3か月後にソバの実の収穫です。その後ハウス内での乾燥、脱穀作業、製粉を経て、年末に蕎麦を打つことができます。私は今回初めて栽培～蕎麦打ちまでを体験してもらいましたが、とにかく美味しかった!! すごく美味しかった!! (笑)。たくさんの労力と行程を経て、美味しいお蕎麦として私たちの口に入る形になるのですね。改めて農家さんや蕎麦職人さんのすごさがわかります。そして真夏の太陽の下で水もやらないのに育つソバの生命力の強さにも驚きました。

地区内、地区外問わずたくさんの人たちの関わりが生まれる「伊野そばプロジェクト」は来年度もまた予定されています。年末の美味しいお蕎麦を楽しみに、私もまた参加しようと思います。



そばの実



種蒔き



手打ちそば



伊野ハーブ

参加者15名

10/24

～秋のおさんぽ観察会～

一般社団法人和ハーブ協会会員でもある地域おこし協力隊の朝枝尚子さんを講師に迎え、秋のおさんぽ観察会を開催しました。みんなでコミセン周辺を散歩しながら道端や田畑の畔道などに生えている和ハーブ(野草)を収穫。天ぷらやサラダ、和え物、ハーブティーなどに調理して試食しました。食べてみると野菜と変わらぬおいしさに一同衝撃! 目線を変えれば和ハーブも厄介ものから大事な食材へと変化しますね。

(コミセン自主企画事業

総務部)



スピラファームによる 野菜作り講習会

参加者25名

9/26

スピラファーム代表の福島克博さん、沙織さん夫妻を講師にお迎えし、野菜を栽培するうえでのポイントや気を付けていること、苦労したことなどをお話いただきました。他にもなぜUターンしたのか、脱サラをした理由、無化学肥料栽培にこだわる理由、販路開拓の方法、おすすめレシピ・・・などここでしか聞けないお話もたくさんありいつもとは一風変わった講習会となりました。

(コミセン自主企画事業 総務部)



ひまわりプロジェクト実施

伊野地区環境推進協議会

地域をひまわりで元気にしようと灘分コミセンのひまわりプロジェクトに伊野地区も賛同。向陽中生が育てたひまわりの苗といのっ子が種を撒き、大きくなった苗を伊野小や地域の皆さんに配布。夏には地区のあちこちでたくさんのひまわりが咲き、見ていると気持ちも明るく元気になりました。



和ハーブのススメ

1月

【神話にも登場する
日本最古の薬「ガマ」】

秋冬、元は田んぼだった場所などに、フランクフルトみたいな植物がずらっと並んでいるのを見かけます。ガマ科ガマ属の「ガマ」です。子どもたちと散歩しながら、それぞれが“これぞ!!”と思うガマの穂を摘んでニギニギ。準備ができればガマの穂の鬼ごっこがスタートします。お互いが風上を取り合いながら穂を飛ばし合って遊びます。つい先日にも大学生の息子と高校生の娘、いい歳の私で勝負しました。いつも勝つのは息子で、娘と私、一緒に付き合わされるワンコは綿毛だらけになってイライラする・・・という、朝枝家の冬の遊びです(笑)。

「古事記」にのっている有名なお話「因幡の白兔」。毛皮をはがされた白兔は通りがかった大国主命のアドバイスでガマの穂の花粉を傷口につけて傷をいやす。実際に有効成分により消炎・止血の薬効があり、生薬名を「蒲黄」といい、「専ら医薬品」とされています。見た目の形から蒲鉾や蒲焼の名前の由来でもあり、葉や茎を材料にしてすだれやむしろに利用されていました。

(朝枝尚子)



ガマの穂

青パト隊 一斉パトロール

12/22

毎年、年末の事故が多くなるこの時期に、青パト隊の皆さんによる年末一斉パトロールを実施しています。この日も9名の青パト隊の皆さんが下校する子どもたちに合わせて各町内の通学路のパトロールを実施されました。





赤ちゃん紹介



男の子

くらはし えいた
倉橋 瑛大 くん



令和4年12月17日生まれ
父：潤さん、母：美佳さん
(金森町内)

両親からのメッセージ

これからすくすく大きくなって
ね!!



女の子

はらだ ちひろ
原田 千尋 ちゃん



令和4年12月19日生まれ
父：慶彦さん、母：紀子さん
(金森町内)

両親からのメッセージ

笑顔ですくすく育ってね♡

ふるさと広場 花盛り

多久和幸広さん(大畑)がふるさと広場の周りに植えてくださった百日草が満開になりました。



大畑フラワーランド コスモス祭り



多久和幸広さん(大畑)を中心に大畑町内の有志の皆さんが耕作放棄地を花畑として甦らせ、コスモスとソバの花が満開になりました。



コミセン 大掃除御礼

12/16

日頃コミセンをご利用いただく団体・サークルの皆様へコミセンの大掃除にご協力いただきました。



しめ縄寄贈御礼



地域の方から手作りのしめ縄をいただき、古民家垂水とコミセン玄関に飾らせていただきました。